

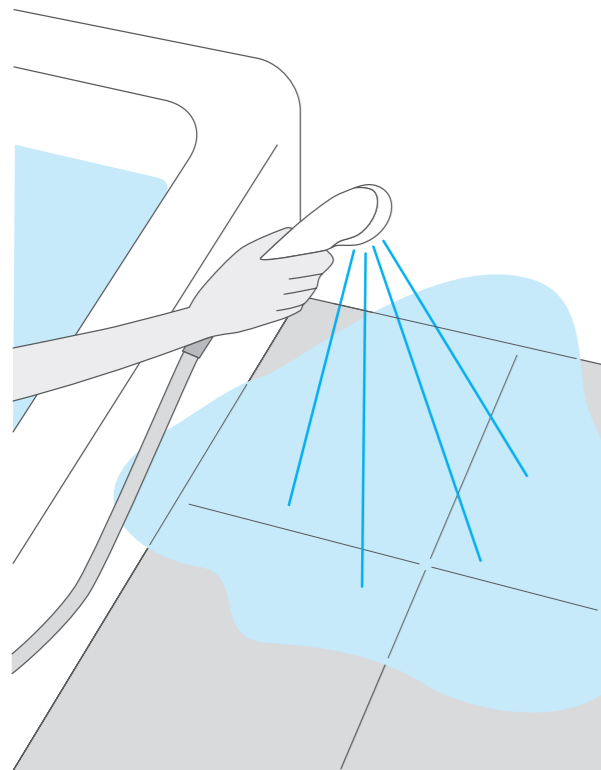
住まいの手入れと修理のしかた | 水まわり

快適な入浴のために

リラックスできるバスタイムを楽しむには、清潔な浴槽は必須です。
日頃の簡単なお手入れを心掛けましょう。



浴室は室内でもっとも湿度と室温が高くなる場所。
換気が不十分だと“高温多湿”→“カビの発生”が起こります。
換気には特にご注意ください。



日常のお手入れについて

シャワーを勢よくかける

入浴後、浴室から出る直前に、シャワーを最大の勢いで、できるだけ高い位置から壁や床を中心にかけてください。特に身体にかけたシャワーの飛沫がかかる場所やふだん乾きにくい場所、樹脂系のコーキング剤の部分は念入りにしましょう。

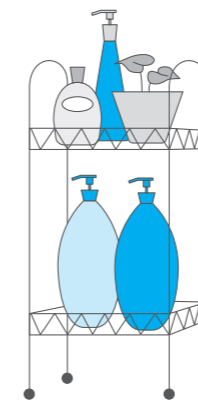
よく乾燥させる

浴室乾燥機を乾燥機モードに切り替え、ドアを閉めて乾燥させましょう。

小物周りは要注意

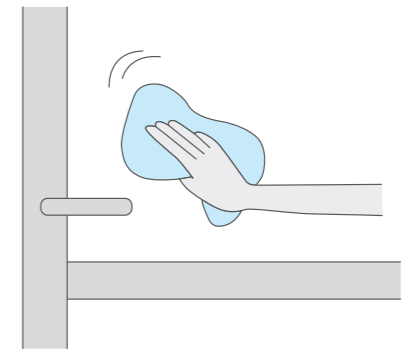
シャンプーや小物の周りなど、空気の流れないところは乾きにくく、カビも生えやすくなります。小物は水切れの良い台の上か、カゴ状の容器に入れておくと良いでしょう。

※浴槽の栓に付いた“鎖”は垂直に引き上げるようにしてください。鎖が取り付けられた浴槽部分に力が加わると、取り付け部分が破損する場合があります。



水滴を拭き取る

湿度の高い状態が長時間保たれると、カビの原因になります。予防のために、水滴はタオルで軽く拭き取ってください。壁全体を毎回タオルで拭けば、新築のような状態が長く保てます。それが面倒な場合は、特に乾きにくい部分だけ水滴を拭いておきましょう。特に鏡は、水滴が付いたままにしておくと水分中のカルシウム分が鏡面に固着するだけでなく長時間経つと、白いシミとなって取れなくなります。



入浴後のカンタンお掃除フロー

- 洗面器などの小物は浴槽でゴシゴシと。
- 浴槽は栓を抜いたらタオルで“お湯はリライン”と底を軽くこすりましょう。
- 排水の間はシャワーで床や壁に着いた皮脂などカビの養分となる汚れを洗い流しましょう。
- 残った水分を拭き取りましょう。冷たいシャワーでも温度を下げるのも効果あり。
- あとは、しっかり乾燥させればOKです。